

## 基本理念及び基本目標説明文

### 案1『未来を創る（つくる）人づくり』

#### （下に三つの基本目標を設定しない場合）

教育基本法は平和で民主的な社会の形成者としての資質を備えた国民の育成を教育の目的とし、同法に基づき策定された第4期教育振興基本計画においても持続可能な社会の担い手の育成を目指すこととしています。

第2次厚木市教育振興基本計画では、未来を担う人材の育成を図るため、「未来を担う人づくり」を基本理念に掲げ、各種施策を推進してきましたが、コロナ禍を経て、デジタル化の急速な進化やグローバル化の進展など、同計画では想定していなかった社会の変化が生じています。

私たちは、今、気候変動や将来起こり得る大規模災害、AI技術の進化、社会情勢の変動に伴う経済の不確実性などにより、VUCA<sup>\*</sup>と言われる将来の予測が困難な時代を生きており、こうした不透明な社会をたくましく生き抜くためにも、自ら未来を切り開いていく「挑む力」、多様性を認め合い、協働して課題を解決に導く「つながる力」、そして、自ら挑み、他者とつながり、より良い社会を「築く力」を身に付けた人材が求められています。

そのため、ライフステージに応じた教育施策の充実と併せて、切れ目のない子育て施策を始めとする様々な市の政策を一体的に進め、誰もが、いつでも、いつまでも思うとおりに学び、成長できる環境を整備し、こうした人材を育成していく必要があります。

これらのことを踏まえ、本市の将来を自分事として捉え、自らの力で創り上げていける人材の育成を目指して、第3次厚木市教育振興基本計画の基本理念を「未来を創る（つくる）人づくり」とします。

※VUCA（ブーカ）とは、Volatility（変動性）、Uncertainty（不確実性）、Complexity（複雑性）、Ambiguity（曖昧性）の頭文字を組み合わせた言葉で、将来の予測が困難な時代を示している。

### 案2、3『未来を創る（つくる）人づくり』

#### （下に三つの基本目標を設定する場合）

上記、案1の文案から基本目標に関する文案を抽出し、基本目標ごとの説明文を設定する。